⑸　栽培漁業技術の展開

これまでに栽培漁業に関して開発されてきた親魚養成、種苗生産及び疾病防除技術等については養殖業に、標識技術や標識放流を活用した生息域の把握、生残率の推定等の技術については資源管理等に、それぞれ応用されるよう、その改良や普及を図るとともに、栽培漁業と他の水産分野で活用できる横断的な技術の開発に努める。

⑹　遺伝子組換え生物等の取扱い

遺伝子を直接操作することによる新たな品種の開発及び種苗放流については、遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律（平成15年法律第97号）に基づいて適正に実施する。また、胚を操作することによる新たな品種の開発及び種苗放流については、公的な試験研究機関が水産庁長官の確認を得て行う試験的な取組を除き、行わない。

⑺　外来生物の導入

栽培漁業への外来生物の導入については、生態系に及ぼす影響が明確でないことから、行わない。

⑻　水研センターの役割

水研センターは、栽培漁業を推進するために必要な技術の開発に取り組み、必要に応じて都道府県の試験研究機関等との共同研究を行うとともに、開発した技術の普及及び指導を行う。また、疾病の発生等の技術的課題が発生した場合には、必要に応じ関係機関に対して技術的な指導及び助言を行う。

第３　その他水産動物の種苗の生産及び放流並びに水産動物の育成に関する重要事項

⑴　関係機関の連携

栽培漁業を効率的かつ計画的に推進するため、国は栽培漁業の基本方針を策定し、水研センターは栽培漁業に関する技術の開発並びに指導及び助言を行い、豊かな海づくり協会は国や水研センターと連携を取りながら、都道府県間の連携及び調整、情報の収集及び提供等による栽培漁業の普及の促進を行う。これらにより、国、水研センター及び豊かな海づくり協会は、全体の方向付けと進行管理を行う。また、都道府県は基本方針に調和した基本計画を策定するとともに、都道府県下の関係者と一体となって、種苗の生産、放流、育成等を行い、栽培漁業を実施する。

⑵　都道府県栽培漁業協会等の連携体制の強化

栽培漁業を効率的に推進するため、都道府県、都道府県の栽培漁業協会その他の栽培漁業の推進団体は、各海域ごとに設置された海域協議会の下で連携を強化するとともに、豊かな海づくり協会を事務局とする海域栽培漁業推進協議会全国連絡会議の下で、栽培漁業の技術及び情報の交換、人材の交流等を推進し、効率的かつ効果的な栽培漁業の推進体制の構築に努める。

⑶　基本方針の期間等

本基本方針の期間は、平成27年度から平成33年度までとする。なお、本基本方針の期間中に水産基本計画の変更が行われる時には、本基本方針の内容について必要な見直しを行う。

（付表）主な栽培漁業対象種の漁獲量動向の見通し

| | 水産動物の種類 | 直近３年間の漁獲量実績（百トン） | | | 平成33年度までの見通し |
|---|---|---|---|---|---|
| | | H23 | H24 | H25 | |
| 魚　類 | マダイ | 173 | 154 | 142 | 現状維持 |
| | ヒラメ | 67 | 61 | 77 | 現状維持 |
| | サワラ（注1） | 14 | 17 | 18 | 増　大 |
| | トラフグ（注2） | 4 | 3 | 3 | 増　大 |
| 甲殻類 | クルマエビ・ガザミ類 | 33 | 33 | 33 | 現状維持 |
| 貝類等 | アワビ類 | 13 | 13 | 15 | 増　大 |
| | ウニ類 | 79 | 83 | 82 | 増　大 |

注１：瀬戸内海系群の漁獲量

注２：瀬戸内海・東シナ海・日本海系群及び伊勢・三河湾系群の漁獲量

## 官　報

**国庫歳入歳出状況**

財務省において各省各庁からの報告をとりまとめた平成26年度の平成27年１月末における国庫歳入歳出状況は、次のとおりである。

平成 27 年 3 月 31 日　　財　務　省

１　一　般　会　計

⑴　歳　入

単位　千円（千円未満切捨）

| 科　目 | 歳入予算額 | 収納済歳入額 本月分 | 収納済歳入額 前月までの累計 | 収納済歳入額 計 | 歳入予算額と収納済歳入額との差（△は減） | 収入歩合 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | % |
| 租税及印紙収入 | 50,001,000,000 | 3,489,683,781 | 17,927,148,120 | 21,416,831,901 | △28,584,168,098 | 42.8 |
| 租　税 | 48,945,000,000 | 3,420,627,250 | 17,314,520,799 | 20,735,148,050 | △28,209,851,949 | 42.3 |
| 所得税 | 14,790,000,000 | 816,514,374 | 7,750,499,111 | 8,567,013,486 | △6,222,986,513 | 57.9 |
| 法人税 | 10,018,000,000 | 1,342,932,045 | 1,270,612,234 | 2,613,544,280 | △7,404,455,719 | 26.0 |
| 相続税 | 1,545,000,000 | 129,078,731 | 765,267,472 | 894,346,204 | △650,653,795 | 57.8 |
| 消費税 | 15,339,000,000 | 855,436,788 | 4,457,383,782 | 5,312,820,570 | △10,026,179,429 | 34.6 |
| 酒税 | 1,341,000,000 | 11,499,954 | 584,286,432 | 595,786,387 | △745,213,612 | 44.4 |
| たばこ税 | 922,000,000 | 11,037,156 | 453,485,615 | 464,522,772 | △457,477,227 | 50.3 |
| 揮発油税 | 2,545,000,000 | 118,897,049 | 929,033,949 | 1,047,930,998 | △1,497,069,001 | 41.1 |
| 石油ガス税 | 10,000,000 | 561,170 | 4,170,848 | 4,732,019 | △5,267,980 | 47.3 |
| 航空機燃料税 | 53,000,000 | 1,365,790 | 26,249,375 | 27,615,166 | △25,384,833 | 52.1 |
| 石油石炭税 | 613,000,000 | 29,504,127 | 247,433,710 | 276,937,838 | △336,062,161 | 45.1 |
| 電源開発促進税 | 327,000,000 | 276,215 | 157,338,382 | 157,614,598 | △169,385,401 | 48.2 |
| 自動車重量税 | 387,000,000 | 34,556,233 | 142,036,546 | 176,592,780 | △210,407,219 | 45.6 |
| 関　税 | 1,045,000,000 | 68,214,955 | 520,896,194 | 589,111,150 | △455,888,849 | 56.3 |
| とん税 | 10,000,000 | 752,637 | 5,807,797 | 6,560,434 | △3,439,565 | 65.6 |
| 地価税 | — | — | 1,298 | 1,298 | 1,298 | — |
| 旧　税 | — | 20 | 18,044 | 18,064 | 18,064 | — |
| 印紙収入 | | | | | | |
| 印紙収入 | 1,056,000,000 | 69,056,530 | 612,627,321 | 681,683,851 | △374,316,148 | 64.5 |
| 官業益金及官業収入 | | | | | | |
| 官業収入 | 45,396,979 | 3,164,267 | 34,494,912 | 37,659,180 | △7,737,798 | 82.9 |